

みんなの議会

たかさ

NO. 132

平成20年11月5日



銀賞

第53回 北海道吹奏楽コンクール
旭川地区代表 鷹栖町立鷹栖小学校

2008年9月6日
札幌コンサートホール Kitara

第3回定例会 で決めたこと
第5回臨時会・委員会活動
平成19年度決算他・議会のうごき
一般質問
わたしの一言 あとがき

2~3ページ
3ページ
4ページ
5~7ページ
8ページ



人自然 あったかさ

平成19年度 一般会計他6各会計決算認定

9月定例会で決めたこと

第3回定例会は、9月11日から3日間の会期をもって開催しました。
議長の行動報告と町長の主要な動静についての行政報告を受けたあと、3名の議員が一般質問を行い、町長、教育長の考えをたどしました。
議事は、3件の報告と条例改正5件、規約改正2件の他、平成20年度一般会計、国保特別会計、老人保健特別会計、公共下水道特別会計の補正予算及び町道の廃止・認定について審議し、原案のとおり議決しました。
また、平成19年度一般会計他6会計の決算について審議を行い認定しました。
教育委員会委員の選任同意並びに北海道後期高齢者医療広域連合議会議員の補欠選挙を行うと共に、意見書7件について採択し、会期を1日残し閉会しました。

報告

・平成19年度鷹栖町健全化比率、公営企業の資金不足比率について
財政の健全化に関する法律の制定に伴い、町の財政指標を議会に報告し、公表することが義務づけられた各数値の報告がありました。これは、町の財政の健全化度を示す数値でいずれも、国で示す基準以下でした（各比率は、4ページ別表2・3に記載）。

・教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況の点検・評価について
地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正に伴い、教育委員会の事務執行状況を議会に報告し、公表することが義務づけられたことによる点検・評価の報告がありました。内部評価の結果、全てA（良好・的確）ランクとなりました。

条例等

・北海道市町村備荒資金組合理約の変更
市町村の財政指標が一定基準以上となるおそれがある場合、当該市町村は、組合に納付した額の全部、又は一部の返還を求めることが出来る等の改正をしました。

・上川支庁管内町村公平委員会共同設置規約の一部改正
消防等の事務処理を共同で行う富良野広域連合が設立されたことに伴い、公平委員会の構成員に富良野広域連合を追加する改正をしました。

・地方自治法の一部改正に伴う関係条例の整理に関する条例
地方自治法の改正により、議員報酬の名称が明確化されたことに伴い、報酬を議員報酬に改めるなど、関係す

補正予算

る4件の条例について一括改正をしました。

・鷹栖町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部変更
（株）日本政策金融公庫法の改正に伴い、関係文言を削除する改正をしました。

■一般会計
歳入歳出予算にそれぞれ5,489万6千円を増額し、予算総額を52億4,996万5千円としました。
補正の内訳

- ・総務費 693万円
- ・民生費2,090万円
- ・衛生費 14万円
- ・農林費1,060万円
- ・商工費 600万円
- ・土木費1,214万円
- ・教育費 369万円
- ・公債費△550万円（主な内容）
- ・電算システム管理運営委託料671万円

・高齢者福祉施設整備補助金1,602万円

・鷹栖保育園備品購入費 470万円

・農薬・ドリフト対策補助金 1,060万円

・定住促進住宅建設補助金 600万円

・道路改修工事 1,050万円

・丸山パークゴルフ場用地購入費194万円

・起債償還利子 △550万円

■国民健康保険特別会計
歳入歳出予算にそれぞれ400万円を増額し、予算総額を8億5,629万円としました。
補正の内容は、平成19年度療養費確定に伴う精算金です。

■老人保健特別会計
補正の内容は、療養費の減200万円、療養費の増200万円です。予算総額1億121万円に変更ありません。

■公共下水道事業特別会計

歳入歳出予算にそれぞれ181万2千円増額し、予算総額を4億3,239万7千円としました。

補正の内容は、下水道管の漏水調査委託料です。

決算認定

平成19年度一般会計 他5特別会計及び水道 事業会計決算認定

- ・一般会計
 - ・国民健康保険特別会計
 - ・老人保健特別会計
 - ・介護保険特別会計
 - ・公共下水道特別会計
 - ・上川支庁管内町村公平委員会特別会計
 - ・水道事業会計
- 各会計の平成19年度歳入歳出決算に監査委員の意見を付した決算書を審査した結果、4ページ別表1・2に記載のとおり認定しました。

人事

■鷹栖町教育委員会委員の選任同意

任期満了に伴う、教育委員に次の方の再任に同意しました。

- ・鹿野 正巳さん
- 北1条1丁目
- ・松平多美子さん
- 北野西3条1丁目

選挙

■北海道後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙

町村議会議員区分の欠員に伴い実施した補欠選挙の結果は、次のとおりです。

- ・松井 宏志さん12票
- ・渡辺 正治さん0票

当選者は、全道の町村議会での選挙結果の集計により決定されます。

(なお、10月9日付けで松井宏志さんの当選が告示されました)

意見書

次の7件の意見書を採択し、関係行政庁に提出しました。

- ・物価高騰に対する緊急対策を求める意見書
- ・道路整備に必要な財源の確保に関する意見書
- ・新たな過疎対策法の制定に関する意見書
- ・北海道の活性化を図るための地方分権改革の推進に関する意見書
- ・国営造成水利施設等の確実な整備・維持・更新に関する意見書
- ・原油価格高騰に関する意見書
- ・農業用生産資材高騰等に関する意見書

第5回臨時会 8月13日

- ・補正予算
 - ・一般会計
- 歳入歳出予算にそれぞれ762万8千円を増額し、予算総額を5億9,506万9千円としました。
- 補正の主な内容は、国から地方への税源委譲において、対前年度所得減により、所得税軽減の影響を受けず、住民税増加のみの影響を受けた方への還付金です。

委員会活動

議会運営委員会

7月24日
鷹栖町議会の議会改革への取組みについて審議しました。

9月5日
第3回定例会で提案される議案や意見書の取扱いなど、議会運営について協議し、会期を3日間と決めました。

経済福祉常任委員会

9月1日
第3回定例会で提案される議案について説明を受け、内容を審議しました。

総務文教常任委員会

8月4日
第5回臨時会で提案

■市町村合併等調査特別委員会中間報告

平成19年6月に設置した特別委員会より中間報告がありました。

要旨
合併特例法の期限(平成22年3月)内での合併はせず、近郊町村との広域連携をも含め、自立への道を見出すべきである。

平成19年度 決算額 及び 財政指標

別表1 平成19年度 普通会計決算認定額 (単位：千円)

会 計	歳入総額	歳出総額	次年度へ繰り越すべき財源	実質収支額
一 般 会 計	4,959,611	4,867,465	12,000	80,146
特 別 会 計	国民健康保険	877,457	855,604	21,853
	老人保健	915,473	908,601	6,872
	介護保険	567,620	546,871	20,749
	公共下水道事業	439,770	435,964	3,806
	公平委員会	11,943	11,465	478
	小 計	2,812,263	2,758,505	53,758
合 計	7,771,874	7,625,970	12,000	133,904

別表2 平成19年度
水道事業会計決算認定額 (単位：千円)

区 分	予算額	決算額
収益的収入	203,908	206,753
収益的支出	210,814	201,637
資本的収入	300,887	299,786
資本的支出	412,394	409,536

別表3 健全化判断比率の状況 (単位：%)

比 率 名	平成19年度	早期健全化基準	財政再生基準	備 考
実質赤字比率	—	15.00	20.00	H19決算は黒字
連結実質赤字比率	—	20.00	40.00	H19決算は黒字
実質公債費比率	17.2	25.0	35.0	
将来負担比率	121.7	350.0		

別表4 公営企業の資金不足比率の状況

1. 水道事業会計 (単位：%)			
比 率 名	平成19年度	経営健全化基準	備 考
資金不足比率	—	20.00	H19年決算は資金不足していない
2. 公共下水道事業会計 (単位：%)			
比 率 名	平成19年度	経営健全化基準	備 考
資金不足比率	—	20.00	H19年決算は資金不足していない

11 日	15 日	12 日	6 日	5 日	4 日	9 月 3 日	9 月 1 日	9 月 31 日	27 日	28 日	25 日	26 日	23 日	24 日	19 日	13 日	8 日	8 月 5 日	8 月 4 日	24 日	19 日	17 日	16 日	13 日	7 日	7 月 1 日	7 月 8 日				
第36回長生き感謝祭	第15回さつぽろ鷹栖会総会(札幌市)	第20年 第3回鷹栖町議会定例会	議会運営委員会	議会議長 故長田昶様 通夜及び葬儀	元鷹栖町議会議長 故長田昶様 通夜及び葬儀	元鷹栖町議会議員 故田中龍雄様 通夜	経済福祉常任委員会	総務文教常任委員会	道内行政視察(札幌市、長沼町)	道内行政視察(札幌市、長沼町)	経済福祉常任委員会	道内行政視察(札幌市、長沼町)	第26回マラソンソフトボール大会 開会式及び閉会式	第2回定例会(旭川市)	上川教育研修センター組合議会	議員協議会・市町村合併等調査特別委員会	平成20年第5回鷹栖町議会臨時会	開拓感謝の集い・戦没者追悼の集い	上川中央都市・町村議会議長定例会(旭川市)	新築工事 起工式	小規模多機能ホームぎたの(仮称)	視察来町対応	議会議長定例会(旭川市)	町内所管現地調査	町内所管現地調査	第18回フラワーフェスティバル	議会議長定例会(旭川市)	創立2周年記念行事(旭川市)	自衛隊旭川地方協力本部 通夜及び葬儀	元鷹栖町議会議員 故松平忠儀様 通夜及び葬儀	全道町村議会議員研修会(札幌市)

議会のうごき

近藤 義紀 議員

問 社会教育主事の必要性について

答 教育委員会総体で社会教育主事の役割を

質問

社会教育主事は、社会教育法に基づいて配置され、社会教育全般への助言と指導を行うものですが、暫定的に置かなくてもよい特例があります。

十数年前は毎年職員が講習を受けて社会教育主事の資格を取得していましたが、最近は取り組みが見られず残念だと思っています。まちづくりの組織のネットワーク作りや、

事、そのニーズに添える為、学習環境の整備などを関係機関あるいは団体の協力を得ながら進めるために現在取り組んでいるところです。

例えば、子供たちを対象に、ビストロキッチン・おはなしキッチン・放課後英語教室・エンジンロケット教室・通学合宿・サマーキャンプなどの事業を地域あるいは学生ボランティア

アの協力をいただきながら進めています。

さらに芸術文化ではちびっこフュージョン・0才からのクラシックなど、社会体育では、水と遊ぼう教室・住民主体の公民館活動、さらには女性サロンスクール、老人大学・大学院など、幅広く生涯学習社会の実現に向けて取り組んでいるところです。

き、事業を推進していきます。

生涯学習課の職員を、研究活動あるいは研修に積極的に参加する機会を設けており、資質向上に努めながら、よりニーズに即した事業展開ができるよう努力しています。

地域づくりなどで、社会教育主事が貢献している自治体もあります。が、本町では今後の生涯学習教育・社会教育の推進に社会教育主事を以前のよう活用する考えがあるかを伺います。

答弁 教育長

20年度教育行政執行方針の中で、幼児期から高齢者に至るまで段階に応じて学び続ける



通学合宿

事業の企画立案、準備・実施については現在、教育委員会職員と生涯学習指導員で取り組んでいます。事業内容によつては道の社会教育主事の参画・助言などをいただきます。

生涯学習の分野、さらにはもっと広い意味での地域づくりという観点の中で、社会教育主事と言われる職制以上の仕事を果たしていると判断していますし、職員みんなが社会教育主事の役割を持って教育委員会総体で社会教育、生涯学習、社会体育などに取り組んでいます。

植西 辰義 議員

問

全国学力テストの結果を受けて、どのように対処するか

答

調査結果を分析し、学習指導改善プランを作成する

質問

文部科学省は、今年4月に実施した全国学力・学習状況調査（全国学力テスト）の結果を公表しました。小学6年生と中学3年生を対象にして国語と算数・数学の科目で知識と活用能力を検証し、その結果を各都道府県、市町村、学校等に通知しています。

北海道の正答率は、昨年同様に全国平均を下回り、ほとんど最下位に近いものです。昨年の全国学力テストの

結果を踏まえて、北海道教育委員会が示した「学校改善支援プラン」は、うまく機能しなかったのではないかと私は思っています。

今回も、11月を目途に学力向上の助言をするとのことですが、町内の小中学校は30人規模を下回る少人数学級であり、鷹栖町独自の授業対策ができると思

いますが、考えを伺います。

答弁 教育長

都道府県別の平均正答率の公表結果におい

て、北海道は小学校が46位、中学校は44位で全国平均を下回っていました。この調査は順位を競うことが目的ではありません。

教育委員会や学校が、全国的な状況において、自らが対応している教育や、教育施策の成果と課題を把握しながら改善を図ることを目的として、昨年と今年、全国学力状況調査に参加をしています。

この調査は、学力テスト以外に、普段の生活や学習習慣も調査をしています。学力と生活習慣の関わりについて、多面的に分析をして、子どもたちに確かな学力を身につけさせるための学習指導、生活習慣の改善に生かしていくことが重要だと考えています。

調査結果は、現在まだ分析中ですが、国語、算数では、活用力、応

用力に弱さが見受けられます。

学習状況調査では、家庭での学習時間が短いこの課題が出ています。一方で、子どもたちが家で学校での出来事をよく話をしている、あいさつをしつかりする、ボランティア意識を持っている、さらには総合学習が好きだなどの極めて高い意識を持っている部分もあり、現段階での教育の進め方については、一定の効果が上がっていると

思います。

現在、各学校においては、基礎・基本の徹底や確かな学力を身につけるために、少人数指導や、1つのクラスに2人の先生が指導を行うTTT指導もしており、習熟度別の学習にも十分取り組んでいます。また、朝

学習や朝読書も行い、夏冬休みには自由登校で学習する機会も作っています。

今年度の調査結果を踏まえ、学力面や学習状況、生活習慣等を分析し、子どもたちに確かな学力を身に付けさせるために学習指導改善プランを作成します。今後、道教委から改善プランが出てきた時点で、それも参考にしながら、教育行政の中に反映させたいと考えています。



小学校の授業風景

加藤 敏昭 議員

問 職員互助会 補助金について

答 互助会への公費補助は 行っていない

質問

地方公務員の福利厚生を担う職員互助会の道内自治体職員一人当たり補助金額が新聞報道されました。

道などがまとめた180市町村の2006年度決算による年間平均額は職員一人当たりで1万2,700円となっています。その中で、鷹栖町は全道5番目の高額の一人当たり2万5,020円です。

新聞報道を見る限り、厳しさを増す財政環境

の中で町民への我慢と協力を求めるだけで、職員に対しては我慢を求めているように見受けられます。

町民への負担をすでに求めている今の段階で、まだ職員互助会の補助金が全道でも高金額と報道されますと、町政に対する町民の見方が変わってくると思います。考えを伺います。

答弁 町長

新聞報道によると、鷹栖町は互助会に対し

て、北海道180自治体の中で職員一人当たり5番目に高い補助金を支出している、しかもその内容は非公表である、ということでした。

しかし、鷹栖町は他の自治体に先駆けて、互助会に対しての公費補助は行わないことで取り組んでいます。

この報道の資料は毎年北海道が実施している「市町村等における福利厚生事業の調査」でした。

鷹栖町でこの調査の対象となる負担は「財団法人北海道市町村職員福祉協会」に対して、ルールに基づいて公費で負担するものだけです。この調査では、職員数101人ではなく、職員福祉協会の対象にならない嘱託職員を含めた互助会員数の159人と報告するべきでした。

もう一つは、福祉協会に対する公費負担額に職員の掛金分(2分の1)も含めて報告していたことです。

北海道に報告した互助会員数と福祉協会の公費負担額の数字が、単純な間違いのまま新聞に報道されました。

このことにより、町民の皆さんに、大変な誤解や町に対する不信の念を持たれたと感じています。大変申し訳なく心からお詫びを申し上げます。

ただ、ほかの自治体でも解釈がかなり異なり、統一性が欠けているように感じました。それぞれの町が行財政の見直しに努力をし、住民にも協力をお願いしている中で、調査結果を十分に確認しないままに報道発表をした北海道の姿勢にも疑問

を持っています。町社会としても慎重に取り扱うように道に対して、厳重に抗議すると共に、調査方法の改善も要望しました。

これからも、協働で町民と行政と一緒に進めていくことが、大変重要なことだと思いますので、行財政の透明化を一層進めるとともに、基礎的な、基本的な事務処理を行う職員一人一人に意識改革とチェック体制を再確認したいと考えています。





それでも空は あくまで高く

中 家 由美子
(天満町内会)

空が燃えています。この色を人はなんと表わすのでしょうか。キュウリの夕採りを終えハウスから一歩足を踏み出すと、そこはまるで非現実であるかのような空なのです。この雲の激しさを人はなんと名付けるのでしょうか。夕空の下に風が騒いで稲穂を揺らし、ちっぽけな私はあぜ道につたってただ見惚れます。

忙しい夏の終わり、溜まりに溜まった疲れが小さな時間の隙間から襲ってきます。忙しすぎると疲れる暇がないのです。だから夏の終わりが危ない。おまけに今年はキュウリが安い、安い、バカ安い。おまけに今年は資材が高い、高い、バカ高い。おまけにだんなとけんかした。いや、けんかすらできない。負のおまけばかりが山積みになって疲れた身体に襲いかかると、心までもがぎゅうと萎んでくるのです。私はなにをしているのだろう。昨日、50円のさんまを食べた。おいしかった。でも、ごめんなさい。今日50円のキャベツを買った。大根も、キャベツも畑にすきこまれたそう。

それでも空は、あくまで高く、私のはるか頭上に確かなものとしてあるのです。そのことを忘れないでいようと思います。この1週間、感激し続けていること。トマトが、ビニールハウスの天井の裂け目から頭を出して花をつけていること。どうしてそんなことができたんだよ。生き物は強い。そのかたわらにあることに感謝しようと思うのです。

● わたしの一言

● 日頃思っていること



最近思うこと

田 中 秀 世
(14町内会)

私は鷹栖町で生まれて66年になります。祖父がノコギリを一丁かっいで石川県の山奥から、北海道へ渡ってきたと聞かされています。農家の長男として生まれたので、当然のように家業を継ぎました。

米を作り続けていましたが規模が小さいのと機械化・農業の進歩で隙ができ農外収入を求めて建設業で30数年間働き、仕事をして人からお金をもらうつらさを痛感しました。その間農政は猫の目のように変わり、農業は衰退してきています。年をとったら楽なくらいができるかと思い、家族サービスもせずできる限り休まないで働いてきました。今は家族3人が高齢者の仲間入りをしてしまいました。世の中はだんだんと高齢者に対して冷たくなってきて、先行き不安でなりません。

国をはじめ北海道も財政は火の車なので、親が貧乏なのに子供(町村)がそれを充分認識せずにお金を使っているはいけないと私は思います。

行政は他人のお金を他人の為に使っていく訳ですから、そこどころが難しいと思います。もし自分の経営に置き換えれば、今これを買えるだろうか、この値段でこの工事をやる事が良いのかと思い悩み、親戚に相談をしたり友達の意見も聞いてみる事もするでしょう。鷹栖町には良いところがたくさんあると思います。大切なお金を上手に使って、人が集まる町鷹栖町を作ってほしいと思っています。

あじがき

秋も深まり、農作業も一段落した事と思います。

諸経費の高騰などで大豊作でも余り喜べない状況ですが、その他の物価も含めて国の施策に注目していきたいと思っています。

「みんなの議会」132号をお届けします。

今定例会では、3名の議員による一般質問、条例・規約改正、各会計補正予算、意見書の採択、平成19年度各会計決算等の審議をしました。

これから、新町長のもとで新たな町政のスタートとなります。議会としてもより良い鷹栖町をめざし、住民の目線に立った議論を深めていきたいと考えます。

最後に、「わたしの一言」にご寄稿くださいました、中 家 由美子 さん
田 中 秀 世 さん
ありがとうございました。

編集委員一同